学校番号	３２４

平成３１年度　国語科

教科	国　語	科目	国語表現	単位数	2	年次	3
使用教科書	「国語表現」　（大修館書店）						
副教材等	テスト式　国語常識の総演習〈修訂三版〉　（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ

・３年生では社会人として必要な自己表現をする力を身に付けましょう。
・文章記述、スピーチなど、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な場に応じた文章を「書く能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」をしっかりと身に付けてください。
・漢字の小テストを通じて、正しい漢字の知識を深めていきましょう。
・予習として自己を振り返り、自分の長所を見つけていきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査を行いませんので、１回１回の授業が大切になります。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	文章を書く	教材:プリント 文章に対する感覚調査 正しい表現をするために ・漢字ワーク	○		◎	○	a:状況に合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:読み手に伝わるように文章を書くために必要な基礎的な表現方法を学ぶ。 d:文章を書くために必要な基礎知識を身に付ける。	a、c、d: 行動の観察と確認
	自己を表現する	教材:プリント 春休みの思い出 10ヵ月後への手紙	○		◎	○	a:自身を振り返り、適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:読み手に伝わる表現の仕方や言葉遣いで書かれているか。 d:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の確認 d:小テスト
	説明をする	教材:プリント 道案内 調理方法 ・漢字ワーク	○		◎	○	a:状況に合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 d:書くことに必要な、語彙や漢字の知識を増やしている。	a、c、d: 記述の点検と確認
2学期	状況に応じた文章を書く	教材:プリント 手紙の書き方 敬語	○		◎	○	a:状況に合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:読み手に配慮した文章が書けている。 d:書くことに必要な、文の組立てや表現について理解している。	a、c、d: 記述の点検と確認及び分析
	自分について知る・表現する(スピーチ)	教材: ワークシート 原稿用紙 評価シート	○	◎		○	a:自分自身について考え、振り返ることが出来る。 b:聞き手のことを考えた話し方を心がけている。相手の表現したいことを汲み取り聞くことが出来る。 d:自分を表現するための語彙を身に付けている	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 d:小テスト及び
3学期	自分について表現する	3 年間の高校生活を振り返り、新聞を作る。自身のことを文章にして表現することを学ぶ。 教材: 原稿用紙 FAX用紙(紙面用)	○		◎	○	a:自分の経験を振り返り、考えを深めようとしている。 c:読み手に伝わるように、自分についての表現方法を考え、書けている。 d:書くために必要な、文章の形態や文体の違い、表現を工夫している。	a、c、d: 行動の観察と確認及び分析

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」）に関わる観点には◎を付している。